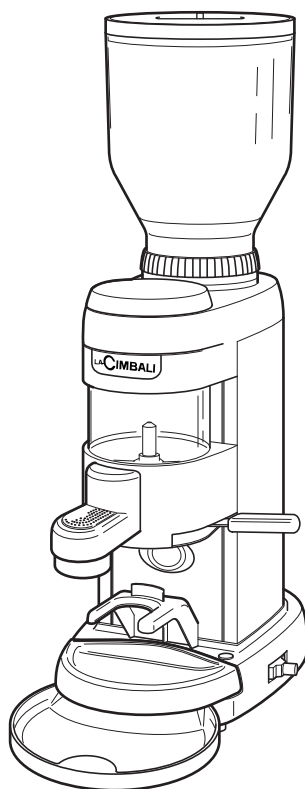


COFFEE MILL
エスプレッソ専用ミル【ラ・チンバリー】
CN-2（業務用）

LA-CIMBALI

取扱説明書



- このたびは、当社のエスプレッソ専用ミル（CN-2）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必ずいつも手元においてご使用ください。
- 保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

目 次



| | |
|----------|-------|
| 安全上のご注意 | 1～6 |
| 仕様 | 7 |
| 各部の名称 | 8 |
| 据付けについて | 9 |
| 操作手順 | 10～14 |
| お手入れについて | 15 |
| 故障の診断と手当 | 16・17 |
| 商品保証書 | 21 |

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。




表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

| | |
|---|--|
|  警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 |
|  注意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。 |

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

| | |
|---|--|
|  感電注意 | △は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。 |
|  接触禁止 | ⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。 |
|  プラグを抜く | ●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。 |

⚠ 警告

- 据付工事は、お買上げ店または専門業者に依頼すること

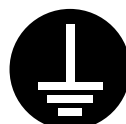
ご自分で据付けをされ不備があると、感電、火災の原因になります。



専門業者

- アース工事を必ずおこなうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
(電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)



アース工事

- 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。



電気工事

- 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電、感電の原因になります。



屋外禁止

- 湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

- 本体に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆、故障の原因になります。



水掛け禁止

- 電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

⚠ 警告

- 電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検清掃

- 漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF（切）』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON（入）』にすると、感電や火災の原因になります。



連絡

- 機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

感電する恐れがあります。



接触禁止

- 濡れた手で電源プラグ（電源プラグ使用の場合）などの電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

- 異常時は、電源スイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くか（電源プラグ使用の場合）、本機専用電源を『OFF（切）』にしてすぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。



専用電源切

- お使いのガス器具がある場合、ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

引火爆発し危険です。



ガス栓閉

- ミルカッターの回転中は、ホッパーの中からカッター内部に指、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガおよび故障の原因になります。



挿入禁止

- ホッパーや粉容器の中に手を入れるときは、電源スイッチを切って機械を止め、本機専用電源を『OFF（切）』にすること

誤って電源スイッチに触れた場合、ケガをする恐れがあります。



専用電源切

警告

● 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

● 改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、感電・火災の原因になります。



改造禁止

● 移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

据え付け不備があると、感電、火災の原因になります。



専門業者

● 廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。



専門業者

⚠ 注意

- 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になります。



水平据付

- 本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。



禁止

- 電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。



禁止

- 熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

発火の原因になります。



可燃物禁止

- 清掃するときや点検の時は、必ず電源スイッチを切って機械を止め、本機専用電源も『OFF（切）』にすること

感電したり、ケガの原因になります。



専用電源切

- 洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に拭き取ること

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。



拭き取る

- 一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため本体の電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にし、電源プラグを使用の場合は電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



専用電源切

⚠ 注意

- 漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



動作点検

- このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

仕様

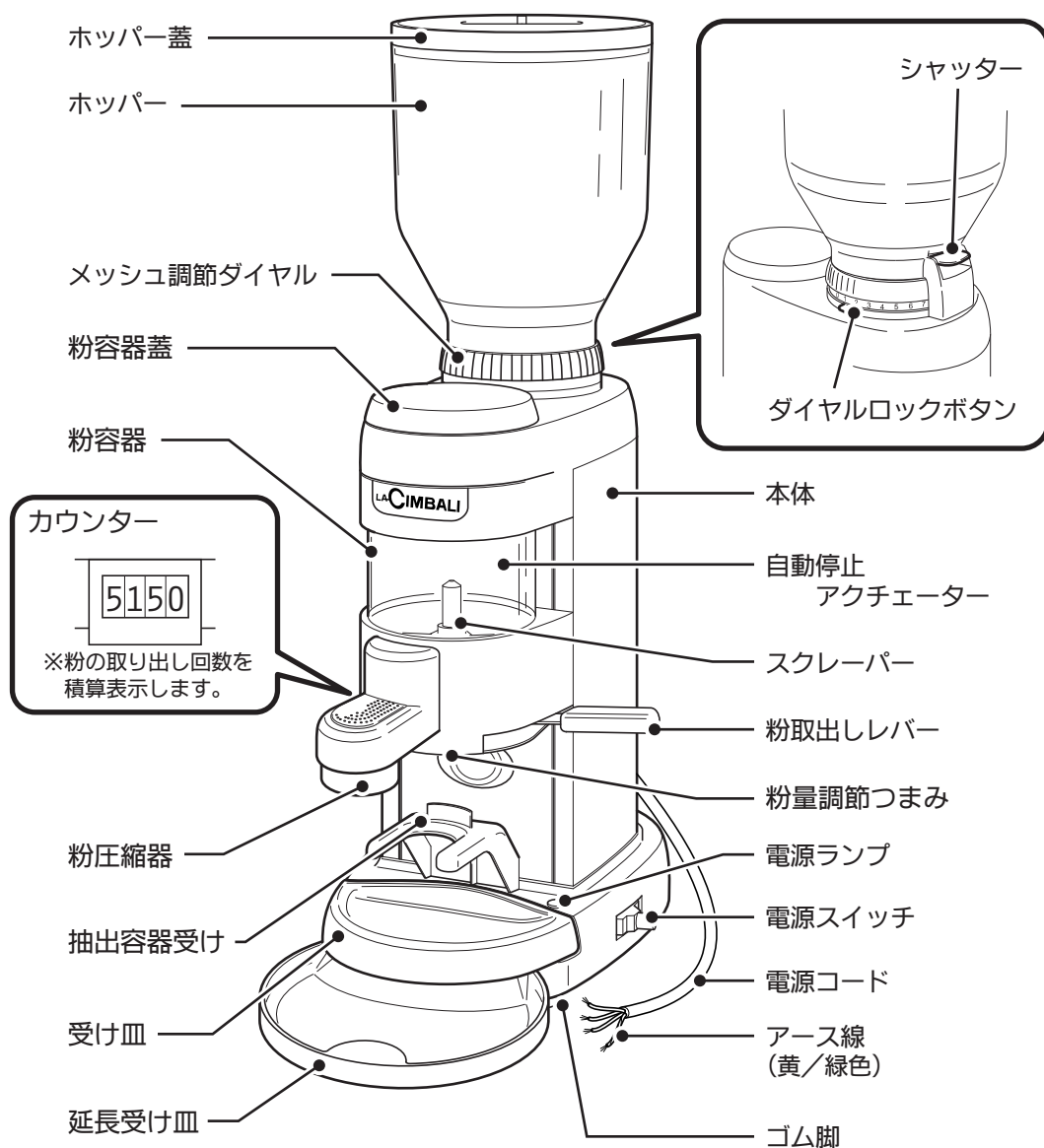
| | |
|-----------|--|
| 品 名 | エスプレッソ専用ミル【ラ・チンバリー】 |
| 型 式 | CN-2 |
| 外 形 寸 法 | 幅 215・奥行 400・高さ 685mm (突起物を含む：幅 260mm) (延長受け皿使用時 奥行 450mm) |
| 電 源 | 三相 200V 50/60Hz |
| 電 流 | 2.0 A (10 分定格) |
| 消 費 電 力 | 450W |
| 安 全 装 置 | モーター保護装置付、ホッパー安全装置付 |
| ホッパー容量 | 1.6kg (コーヒー豆量) |
| 粉量調節範囲 | 5 ～ 9g |
| 電 源 コ ー ド | 長さ：1.5 m 4 心 |
| 質 量 | 19.8kg |

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

| | |
|---------|--|
| 主 要 部 品 | ・ホッパー（ホッパー蓋付）…………… 1 個 ・受け皿 …………… 1 個 ・延長受け皿 …………… 1 個 |
|---------|--|

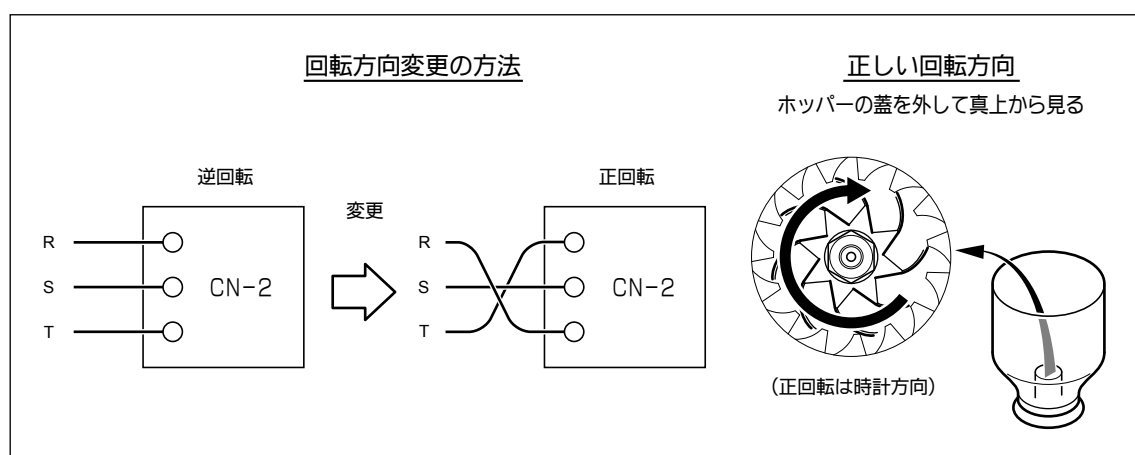
各部の名称

●本機は、コーヒー豆をエスプレッソ挽きする専用の機械です。
 コーヒー豆以外のものは挽かないでください。



据付けについて

1. 水平で丈夫な調理台に、据え付けてください。
調理台が傾斜していたり不安定ですと、転倒する恐れがあり危険です。
2. 電源を接続してください。
本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続してください。
接続時には、カッターの回転方向が時計方向になるように結線をしてください。
回転方向の確認のしかたは、電源スイッチを入れてモーターを回転させ、ホッパーの蓋を外して真上からカッター軸の回転方向を見てください。
正しい回転方向は「時計方向」ですが、逆回転（反時計方向）になっている場合は、下記の「回転方向変更の方法」図を参照の上、線を2本入れ替えて回転方向を変更してください。



3. 本機の電源コードを電源設備に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず、少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください。
(電源コードの長さ：1.5m 4心)
4. 水のかからないところに据え付けてください。
本体と電源コードに水がかかりますと、漏電、感電の原因になります。
5. アースは必ず取ってください。
アースは、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。
ガス管、水道管、電話のアース線、避雷針などには危険ですから絶対にアース線を接続しないでください。
アース線は、電源コード内にある緑／黄色の線です。

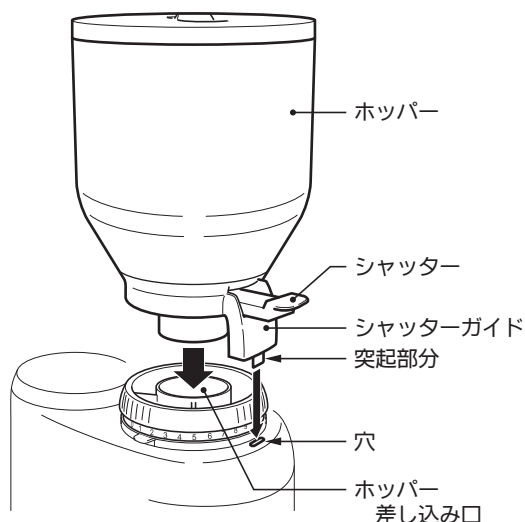
操作手順

【ご使用になる前に、「お手入れについて」の「4.」項目を参照して、ホッパー内をきれいに清掃してください。】

1. 受け皿、延長受け皿（必要に応じて）を本体にセットしてください。
2. ホッパーを本体にセットしてください。

- 1) ホッパーガイド下部にある突起部分を、本体後部にある穴に正しく入るように向きを合わせて、ホッパー差し込み口に差し込んでください。
- 2) ホッパーは、しっかりと差し込んでいるか確認してください。

【注意！】 ホッパーガイド下部にある突起部分が、本体の0型穴に正しくセットされていないと、ホッパー安全装置がはたらいて機械は動作しません。

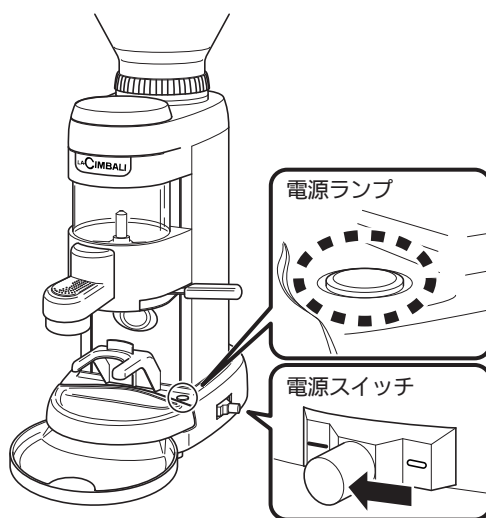


3. シャッターを閉じてください。
ホッパー内にコーヒー豆を入れる前に、ホッパーのシャッターが開いていれば、いったん閉めてください。シャッターは指でホッパー内に押し込むと閉まります。
4. ホッパー蓋を取り、ホッパー内にコーヒー豆を入れてください。
ホッパー内には、最高1.6kgのコーヒー豆が入ります。
5. ホッパー蓋をセットしてください。

6. 本機専用電源を入れて、電源スイッチを入れてください。
本体右側下部にある電源スイッチをON（「I」の方向に倒す）にしてください。
電源ランプが点灯し、モーターが回転します。

7. ホッパーのシャッターを、指で機械の後方に引き出して開けてください。
コーヒー豆がカッター部に落ち、豆を挽き始めます。
挽かれたコーヒー粉は、粉容器内に溜まります。

8. 粉容器内にコーヒー粉が約200g溜まると、自動停止アクチュエーターがはたらいて、モーターの回転が止まります。



9. 電源スイッチを切って（「○」の方向に倒す）ホッパーのシャッターを押し込んで閉じてください。

※連続してコーヒー豆を挽く場合は、電源スイッチを切らずにシャッターを開けたままにしておけば、粉容器内の粉を10回程度の量を取り出すごとに、取り出した量だけ自動的にコーヒー豆を挽きます。

10. コーヒー粉を取り出してください。

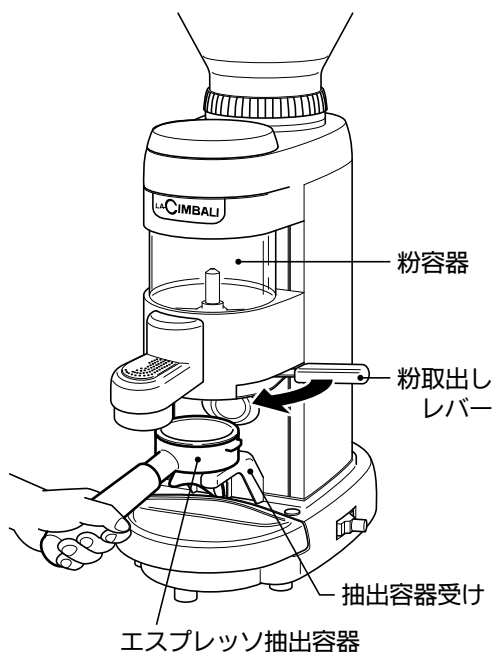
1) コーヒーマシンのエスプレッソ抽出容器（コーヒーマシンの付属品）を本体の抽出容器受けにセットして、粉取出しレバーを手前方向へいっぱいに素早く引いてください。

2) エスプレッソ抽出容器の1人用は、1回分取り出してください。

3) エスプレッソ抽出容器の2人用は、2回分続けて取り出してください。

4) カウンターについては、1回コーヒー粉を取り出すごとに、取り出し回数がカウンターに積算表示されます。

※カウンターの数値は、リセットすることはできません。



11. エスプレッソ抽出容器に取り出した粉は、抽出容器を本体の粉圧縮器の真下に移動させて、軽く下から押しつけ、粉を平らにしてください。



メッシュ（挽きの粗さ）調節について

- ◆ コーヒーのメッシュは、実際にコーヒーマシンでコーヒーを抽出して、抽出の状態を確認し、お客様の好みのメッシュになるよう調節してください。

抽出時間が短く泡立ちが悪い場合 → メッシュを細かくする

抽出時間が長すぎる場合 → メッシュを粗くする

- ◆ 新品のコーヒーミルは、使い始めしばらくはミルカッターの刃が馴染んでいないため、摩耗が速く進みます。そのためメッシュが粗くなりますので定期的な調節が必要となります。

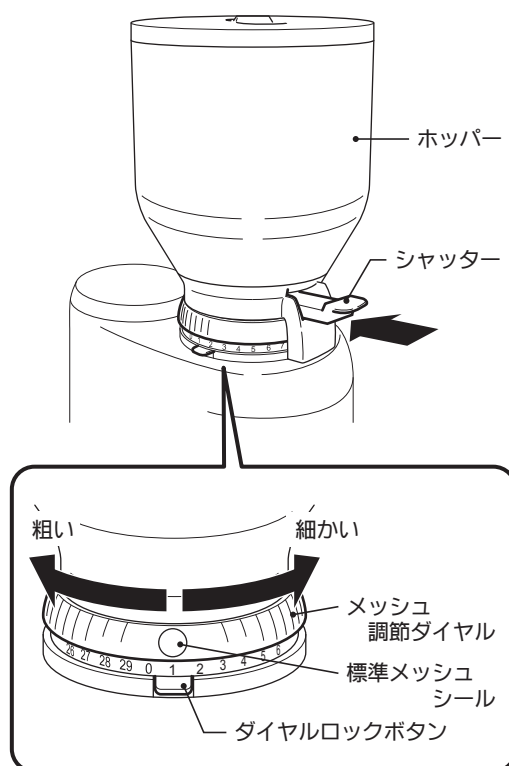
本機も使い始めから 100 kg～ 150 kg 程度（コーヒー豆の種類によって異なる）のコーヒー豆を挽くまではミルカッターの摩耗が速く、導入時に比べてメッシュが粗くなっていきます。

ミルカッターの刃が馴染んできると、ミルカッターの摩耗速度が遅くなり、メッシュが安定してきます。ただし、美味しいコーヒーを提供していただくために、定期的にコーヒーの抽出状態を確認し、メッシュの微調整をおこなってください。

- ◆ ホッパー内のコーヒー豆量が少なくなるとメッシュが粗くなりますので、13ページの「ホッパー内の豆量について」をご参照いただき、ホッパー内の豆量を常に3～7分目の範囲内に保ってご使用ください。

1. ホッパーのシャッターを閉じてください。
（メッシュ調節をするときは、コーヒー豆を挽かずにこなってください。）
2. 電源スイッチをONにして、モーターを回転させてください。
3. ダイヤルロックボタンを、右手の親指で押し下げながら、左手でメッシュ調節ダイヤルを回してください。
4. メッシュ調節ダイヤルを回すときは、ゆっくり1目盛りずつ回してください。
5. 左方向に回すと、メッシュは粗くなり、右方向に回すと細かく挽けます。

【注意！】 カッターが擦れ合うまで左方向に回してメッシュを細かくしないでください。
ミルカッターの目詰まりや、モーターの故障の原因になります。

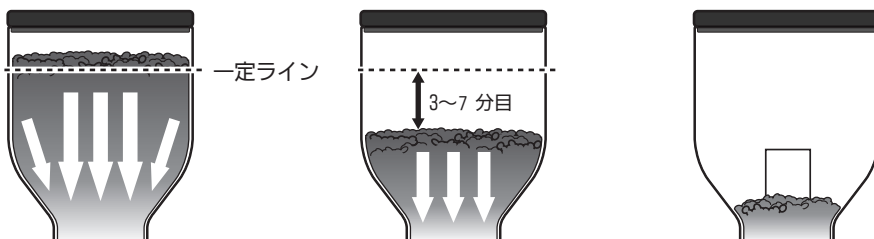


6. 調節後は、コーヒー豆を挽いてメッシュの状態を確認してください。
好みのメッシュになるまで、1. ～6. の手順を繰り返してください。
7. メッシュ調節ができましたら電源スイッチを切り、本機専用電源も切ってください。

ホッパー内の豆量について

ホッパー内の豆量が少なくなると（3分目以下）、ミルカッターにかかる豆の重さが軽くなり、豆を挽いた際にメッシュが変わり、挽き豆の状態がバラつくことがあります。

常に安定したメッシュを得るためには、ホッパー内の豆量を3～7分目の範囲内でご使用ください。

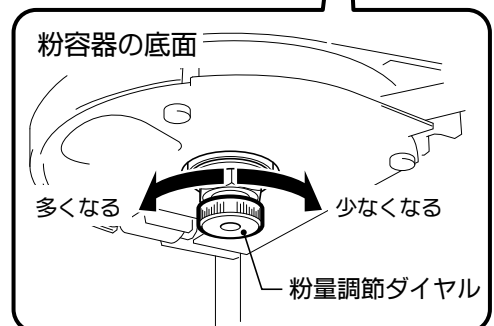
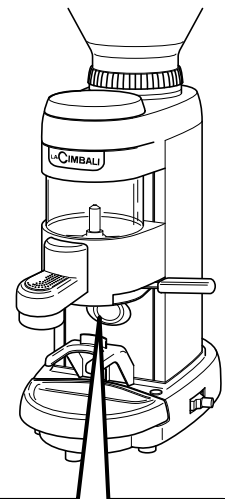


※豆が少なすぎるとメッシュは粗くなる。→抽出時間が早くなる。

取り出し量の調節について

工場出荷時、1回のコーヒー粉取り出し量は標準（1回分7g）に調節してありますが、お客様のお好みで取り出し量を増減される場合は下記の要領でおこなってください。

- ・ コーヒー粉の取り出し量は、5～9gの範囲で調節が可能です。
- ・ 粉容器底面に付いている粉量調節ダイヤル下から見て、反時計方向に回すと1回当たりの粉量が多くなり、時計方向に回すと少なくなります。



お願い

1. 本機は、コーヒー豆をエスプレッソ挽きにする専用機械です。
コーヒー豆以外のものは挽かないでください。
2. 屋外では使用しないでください。
3. 常時は、ホッパー蓋、粉容器蓋は閉めておいてください。
開けたままにしますと、不純物（虫、ホコリなど）が混入することがあります。
4. ホッパー内には、コーヒー豆以外の異物や金属物が混入しないようにご注意ください。
機械の故障、カッターの破損の原因になります。
5. カッターに異物をかみ込んだ場合は、モーター保護装置が働き、モーターが自動的に停止します。
その場合は、必ず本体の電源スイッチを切り、本機専用電源も『OFF（切）』にして、ホッパー内のコーヒー豆を抜き、異物を除去してください。
6. 運転中は、ホッパーの中からカッターの内部に指、箸、スプーンなどは絶対に入れないでください。
ケガや機械の故障の原因になります。
7. メッシュ調節について
 - 1) 最初コーヒー豆が全く挽けない場合は、メッシュ調節ダイヤルを反時計方向（粗くする）に約1／3回転くらい回して、一度粗挽きにしてから徐々に元のメッシュに戻してください。
 - 2) メッシュを再調節する際には、あまり細かくして微粉状に調節するとカッター目詰まりの原因になります。
 - 3) 季節（湿度）によっては、コーヒーの抽出時間が変わることがあります。
コーヒーマシンでコーヒーを抽出して、コーヒーの抽出時間が変わっているときは、メッシュの調節をおこなってください。
 - 4) メッシュ調節をおこなっても細かくならなくなった場合は、ミルカッターの寿命ですので、交換が必要となります。お買上げ店にご連絡ください。
8. 連続してコーヒー豆を挽く方法でご使用になった場合は、終業時には必ずホッパーのシャッターを閉じ、本体の電源スイッチを切ってください。
9. 休日前には、本体の電源スイッチを切り、本機専用電源も『OFF（切）』にしてください。
10. コーヒー豆入り袋の保管は、コーヒー袋を常に密封して温度の低い乾燥した場所に置いてください。（直射日光の当たる場所は絶対に避けてください。）

お手入れについて

【いつも安全で清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、作業終了後は各部を清掃してください。】

1. 本体各部（粉容器内部、粉容器蓋、粉圧縮器、抽出容器受けなど）に付着しているコーヒー粉は、柔らかい刷毛やブラシで払い落とし、柔らかい布で拭いてください。
2. 受け皿、延長受け皿に溜まった粉は捨てて、柔らかい布できれいに拭いてください。
3. 本体周辺に飛び散った粉は、掃除機で吸い取ると清潔になります。
4. ホッパー内および本体外装部に付着したコーヒー豆の油汚れは、食器用中性洗剤を含ませた布かスポンジを硬く絞って拭き、きれいな水で濡らした布を硬く絞って十分に洗剤成分を拭き取ってください。
その後完全に乾燥させてください。

お願い

1. 本体外装部分の清掃の際は、必ず電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF(切)』にしてください。電源プラグをご使用の場合は、電源プラグを抜いてください。
2. 本体は絶対に水洗いしないでください。
故障や漏電の原因になります。
3. ホッパー、ホッパー蓋、受け皿、延長受け皿のプラスチック部分は、高温洗浄すると変形したり、変色する恐れがあります。
食器洗浄機などは使用せずに、60℃以下のお湯で洗浄してください。
4. 清掃をするとき、クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使わないでください。
キズがついたり、破損の原因になります。

故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを切って機械を止め、本機専用電源も『OFF(切)』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。

※ご連絡の場合は、本機の型式名・機番・お買上げ日・故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

| 状 態 | 診 断 | 手 当 |
|---|-------------------------------|---|
| 電源スイッチを入れてもコーヒー豆を挽かない。 (※電源ランプが点いていない場合) | 本機専用電源が『OFF(切)』になっていませんか？ | 『OFF(切)』になっているときは、『ON(入)』にしてください。 |
| | 停電ではありませんか？ | 通電するのを待ってください。 |
| | 漏電遮断器が切れていませんか？ | 『OFF(切)』になっている場合は、お買上げ店へ連絡してください。 |
| | 機械の故障の可能性があります。 | お買上げ店へ連絡してください。 |
| 電源スイッチを入れてもコーヒー豆を挽かない。 (※電源ランプが点いている場合) | ホッパーのシャッターを閉じていませんか？ | シャッターを開けてください。 |
| | 粉容器内にコーヒー粉が多量にありますか？ | 粉容器から、コーヒー粉を取り出してください。 |
| | モーターの保護装置が動作している可能性があります。 | 電源スイッチを切り、本機専用電源を『OFF(切)』にして、時間を置いてから再度電源を入れてください。 |
| | ミルカッターが、目詰まりしている可能性があります。 | メッシュ調節つまみを回し、メッシュを粗くしてからモーターを回転させてください。症状が改善されないときは、お買上げ店へ連絡してください。 |
| | 機械の故障の可能性があります。 | お買上げ店へ連絡してください。 |
| 本体から異常音が発生する。 | 丈夫な所に設置していますか？ | 不安定な場合には、お買上げ店へ連絡してください。 |
| | 据え付けが悪く、がたついていませんか？ | 水平で平らな場所に据え付けてください。 |
| | 本機に何か触れた状態になっていませんか？ | 接触しているものを取り除いてください。 |
| | カッター部に異物が噛み込まれていませんか？ | 電源スイッチを切り、本機専用電源を『OFF(切)』にして、カッター部の異物を取り除いてください。 |
| | ホッパー蓋、粉容器蓋、受け皿が正しくセットされていますか？ | ホッパー蓋、粉容器蓋、受け皿を正しくセットしてください。 |
| | 機械の故障の可能性があります。 | お買上げ店へ連絡してください。 |

| 状 態 | 診 断 | 手 当 |
|----------------|--------------------------------------|---|
| メッシュが粗すぎる。 | ミルカッターが、目詰まりしている可能性があります。 | 12 ページの「メッシュ調節について」を参照して、メッシュの調整をおこなってください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。 |
| | ミルカッターが摩耗している可能性があります。 | |
| メッシュにバラツキがある。 | ホッパー内のコーヒー豆の量が少なすぎる、または多すぎる可能性があります。 | 13 ページの「ホッパーの豆量について」を参照して、豆の量を調整してください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。 |
| 漏電遮断器が切れる。 | 漏電遮断器のレバーの位置が「OFF (切)」になっていませんか？ | 漏電遮断器が「OFF (切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。レバーが「OFF (切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON (入)」にすると、感電や火災の原因になります。 |
| 電源コードが異常に熱くなる。 | 電源コードを束ねていませんか？ | 電源コードを束ねている場合は、解いてください。 |
| | 電源コードをものなどで挟み込んでいませんか？ | 電源コードを挟み込んでいるものを取り除いてください。 |

[illegible]

[illegible]

[illegible]

エフ・エム・アイ商品保証書

《本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。》

保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。
その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店が「**無料修理**」いたします。
- 無料修理を受ける場合は、お買上げ店にご依頼のうえ、出張修理に際しまして本書をご提示ください。
- 保証期間内でも次の場合には「**有料修理**」となります。
 - ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - 車輛、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
 - お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 指定外の使用電源（電圧、周波数）の使用による故障および損傷。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 消耗部品（ミルカッター）は、保証の対象範囲から除外させていただきます。

※この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）

当社では、本製品の修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を販売打ち切り後5年とさせていただきます。修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を終了している場合、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

| | | | | |
|-----------------------|-------|----------------------|------|------------------------|
| 品 名 | | エスプレッソ専用ミル 【ラ・チンバリー】 | | |
| 型 式 | | CN-2 | 製造番号 | |
| お 客 様 | ご 芳 名 | 様 | | |
| | ご 住 所 | 〒 TEL. () | | |
| お 買 上 げ 店 | 店名・住所 | | | |
| お買上げ日 | 年 | 月 | 日 | 無料修理保証期間 お買上げ日より1年間 |

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

PF”